

童話本を作ろう（４）

縦書き袋とじの冊子を、作ってみます。右綴じになるので、印刷プレビューと実際の印刷結果が異なります。プリンタによっては設定が必要な場合もあるので、ねらい通りに印刷できるか注意が必要です。イラストを、見開きにまたがってレイアウトする場合も、プレビューができないので、工夫してみましょう。

1. 準備

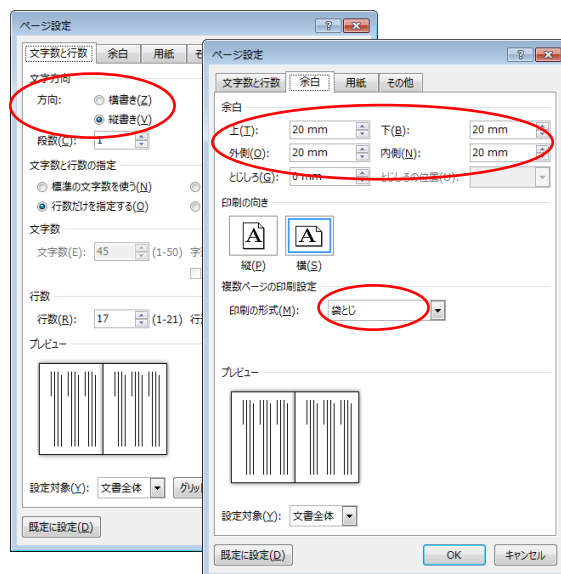
- ①「Word186 童話.txt」を、デスクトップに用意します。
- ②イメージに合ったイラストを、インターネット上から集めます。作品全体に統一性を持たせるために、なるべく描き方の近いイラストを選ぶようにしましょう。
（自分で描けるかたは、イラスト作成にチャレンジしてみましょう。）

作品例のイラストは、「イラストAC」からいただきました。



2. ページレイアウト

- ①ワードで新規文書を開き、「ページレイアウト」タブ→「ページ設定」のダイアログボックスランチャーをクリック。
- ②「文字数と行数」タブで、縦書きを選択。「余白」タブで、余白はすべて 20mm にし、印刷の形式は「袋とじ」を選びます。
- ③「Word186 童話.txt」を開いて、すべて選択→コピー。ワードに戻って、貼り付けます。
- ④すべて選択し、フォントの種類を丸ゴシック、サイズを 14pt、色を青にします。



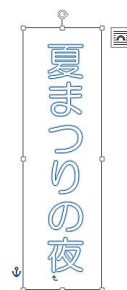
※ショートカットキー

コマンド（命令）はふつう、メニューから選びます。しかし、よく使う代表的なコマンドには、ショートカットキーが割り当てられています。キーボードで、ササッと作業してみましょう。

- ・「すべて選択」 = Ctrl+A
- ・「コピー」 = Ctrl+C
- ・「切り取り」 = Ctrl+X
- ・「貼り付け」 = Ctrl+V

Word186

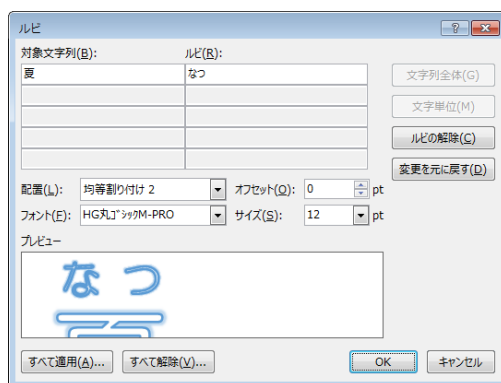
- ※区切り方の例は、サンプルを参照してください。



3. ルビ

- タイトルを完成させます。

- (ルビが間違っているときは、ルビ欄を訂正します。)



4. イラストの挿入

- ① 1 ページめにイラストを挿入し、位置・大きさを調整します。
- ② 「書式」タブ→「背面へ移動」の▼→「テキストの背面へ移動」。
- ③ 「図の効果」で、10pt 程度のぼかしを入れます。
- ④ 同様にして、ほかのページにも、イラストを入れていきます。



5. 発展学習

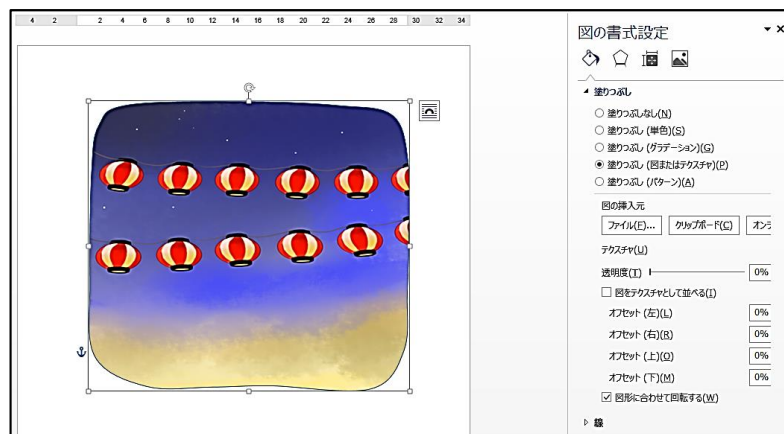
(1) イラストの形

「四角いイラストばかりでは、変化がなくておもしろくない」って感じませんか。そんなときは、イラストの周囲を、自由な形で切り取ってみましょう。

- ① 「挿入」タブ→「図形」→「曲線」で、手書きっぽい四角を描きます。

- ② 「書式」タブ→「図形のスタイル」のダイアログボックスランチャー→「塗りつぶし」で、用意したイラストで塗りつぶします。

- ③ あとは4と同様に、位置・大きさを整え、テキストの背面へ移動して、周辺をぼかします。



※次のイラストは、1つめのイラストをコピーして使うと、②の操作だけでOK。

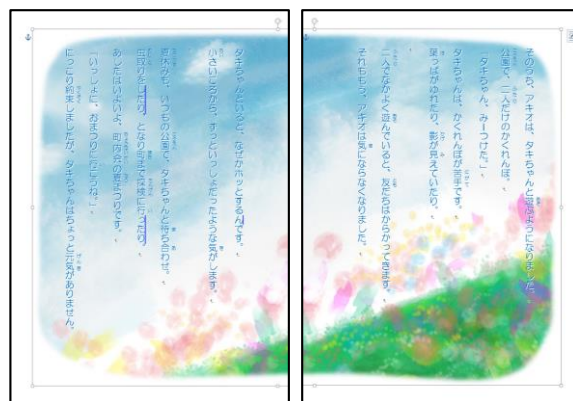
(2) 2 ページにまたがるイラスト

見開きの両ページにまたがるように、イラストを入れてみましょう。

- ① 右側のページにイラストを挿入→はみ出すように拡大します。
- ② イラストをコピー。
- ③ 左側のページに移動して、貼り付け。
- ④ 右側ページではみ出した部分が表示されるように、横移動します。

※上下移動をなるべくしないよう、注意。

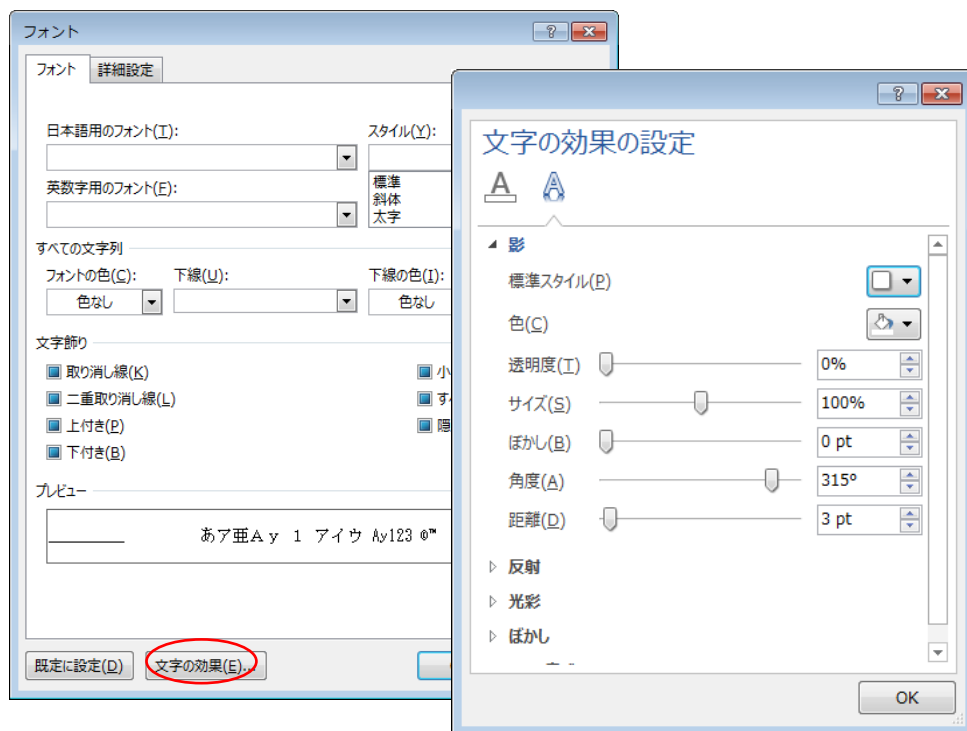
※左右の境界部分は、5mm ほど綴じ代をとります。



(3) フォントに影をつける

イラストと本文が重なると、文字が読みにくくなります。そこで、文字に白い影をつけましょう。

- ①すべて選択→「ホーム」タブ→「フォント」のダイアログボックスランチャー。
- ②「文字の効果」をクリック→「影」で、下図のように設定します。色は「白」に。



6. 印刷

印刷プレビューを見ても、袋とじの状態でのプレビューは表示されません。

いきなりすべて印刷せずに、ために1枚目（1～2ページ）を印刷して、右側に1ページめが印刷されるか、確認しましょう。